

## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月8日

上場会社名 株式会社 藤商事 上場取引所 東  
 コード番号 6257 URL <https://www.fujimarukun.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今山 武成  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 経営管理本部長 (氏名) 村上 和繁 TEL 06-6949-0323  
 四半期報告書提出予定日 2024年2月9日  
 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	29,626	11.3	5,243	18.2	5,276	14.2	3,982	0.9
2023年3月期第3四半期	26,607	59.7	4,437	-	4,620	-	3,948	-

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 3,352百万円 (△27.0%) 2023年3月期第3四半期 4,592百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	190.57	-
2023年3月期第3四半期	176.29	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	52,407	42,058	80.2
2023年3月期	51,160	39,788	77.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 42,050百万円 2023年3月期 39,780百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	25.00	-	25.00	50.00
2024年3月期	-	25.00	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	-	-	30.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	20.4	5,000	29.0	5,000	23.0	3,500	△33.9	167.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	24,395,500株	2023年3月期	24,395,500株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	3,500,154株	2023年3月期	3,500,132株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	20,895,354株	2023年3月期3Q	22,395,432株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たった注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は、2024年2月8日（木）に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な金融引き締めにもなう海外景気の下振れリスクや物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に留意することが必要な状況にあるものの、雇用・所得環境が改善するもとで各種政策の効果もあり、景気は緩やかな回復が続くことが期待されます。

パチンコホール業界におきましては、大衆娯楽として健全かつ安心・安全な遊技環境を提供することを継続して推進しているなかで、スマート遊技機（スマートパチンコ、スマートパチスロ）の普及に向けて取り組んでおります。特にスマートパチスロにつきましては、スマートパチンコに比べて導入時期が早かったことや、ゲーム性が大幅に向上したこと、および注目度の高い機種が複数発売されたこともあり、順調に設置台数が増加しております。

遊技機業界におきましては、パチンコ遊技機ではスマートパチンコの普及に課題が残るものとなりましたが、一部スマートパチンコの新規タイトルにおいて好調な稼働実績を残すタイトルがみられるようになってまいりました。一方、パチスロ遊技機ではスマートパチスロが市場を牽引する形で稼働は回復しており、当社グループを含めたパチスロメーカー各社から発売される主要な機種が多くがスマートパチスロとして発売されております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、スマート遊技機の開発促進を最重点課題としたうえで、引き続き、市場トレンドの先端を行く機種開発に取り組み、お客様に支持される遊技機を安定的に供給することにより、販売台数の確保に努めております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、当社として9年振りの国民的アニメコンテンツや当社主力の若年層向けアニメタイトルのパチンコ遊技機とスマートパチスロを市場投入したことに加え、一部地域を対象に完全告知系のパチスロ遊技機（30Φ）をテスト導入いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高296億26百万円（対前年同期比11.3%増）、営業利益52億43百万円（同18.2%増）、経常利益52億76百万円（同14.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益39億82百万円（同0.9%増）となりました。

※製品別の状況は次のとおりであります。

#### （パチンコ遊技機）

パチンコ遊技機につきましては、新規タイトルとして「Pゲゲゲの鬼太郎 獅子奮迅」（2023年10月発売）、同機種のスマートパチンコである「スマパチ ゲゲゲの鬼太郎 獅子奮迅SP」（2023年10月発売）を同時投入したほか、当社グループの主力タイトルの後継機である「Pとある魔術の禁書目録（インデックス）2」（2023年12月発売）を市場投入いたしました。また、その他のシリーズ機種を継続販売いたしました。

以上の結果、販売台数は42千台（対前年同期比15.7%減）、売上高163億89百万円（同15.6%減）となりました。

#### （パチスロ遊技機）

パチスロ遊技機につきましては、新規タイトルとして当社グループの主力タイトルである「スマスロ とある魔術の禁書目録（インデックス）」（2023年10月発売）を市場投入したほか、一部地域を対象に「パチスロ 琉神-30 スイカバージョン」（2023年11月発売）をテスト導入いたしました。

以上の結果、販売台数は29千台（対前年同期比71.5%増）、売上高は132億37百万円（同84.3%増）となりました。

### （2）財政状態に関する説明

#### （資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は351億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億7百万円増加いたしました。これは主に、原材料及び貯蔵品が10億34百万円、商品及び製品が6億52百万円増加したことに対し、現金及び預金が7億73百万円、前渡金が4億58百万円減少したことによるものであります。固定資産は172億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億39百万円増加いたしました。これは主に、長期前払費用が6億23百万円増加したことに対し、投資有価証券が3億79百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は524億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億46百万円増加いたしました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は85億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億77百万円減少いたしました。これは主に、未払法人税等が4億7百万円、賞与引当金が3億1百万円減少したことによるものであります。固定負債は18億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ53百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は103億48百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億24百万円減少いたしました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は420億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億70百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益39億82百万円および剰余金の配当10億44百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は80.2%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月12日に公表しました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### （1）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	20,402	19,629
受取手形、売掛金及び契約資産	5,839	6,200
商品及び製品	915	1,567
原材料及び貯蔵品	4,987	6,021
前渡金	1,843	1,384
その他	474	461
貸倒引当金	△144	△139
流動資産合計	34,318	35,125
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,696	2,629
土地	3,152	3,152
その他（純額）	1,492	1,743
有形固定資産合計	7,341	7,525
無形固定資産	663	796
投資その他の資産		
投資有価証券	4,732	4,352
長期前払費用	2,208	2,831
繰延税金資産	1,214	1,021
その他	1,172	1,242
貸倒引当金	△491	△488
投資その他の資産合計	8,837	8,959
固定資産合計	16,842	17,281
資産合計	51,160	52,407

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,691	5,647
未払法人税等	751	343
賞与引当金	606	304
役員賞与引当金	126	—
その他	2,443	2,246
流動負債合計	9,619	8,542
固定負債		
退職給付に係る負債	839	892
その他	912	913
固定負債合計	1,752	1,805
負債合計	11,372	10,348
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,281	3,281
資本剰余金	3,228	3,228
利益剰余金	35,583	38,521
自己株式	△4,685	△4,685
株主資本合計	37,408	40,345
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,446	1,760
退職給付に係る調整累計額	△74	△55
その他の包括利益累計額合計	2,371	1,704
新株予約権	8	8
純資産合計	39,788	42,058
負債純資産合計	51,160	52,407

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）
売上高	26,607	29,626
売上原価	12,331	13,314
売上総利益	14,276	16,312
販売費及び一般管理費	9,838	11,068
営業利益	4,437	5,243
営業外収益		
受取利息	0	2
受取配当金	46	50
利用分量配当金	4	17
違約金収入	100	—
その他	48	51
営業外収益合計	200	122
営業外費用		
貸貸収入原価	3	3
貸倒引当金繰入額	8	—
シンジケートローン手数料	6	84
その他	0	0
営業外費用合計	17	89
経常利益	4,620	5,276
特別利益		
固定資産売却益	9	2
特別利益合計	9	2
特別損失		
投資有価証券評価損	—	0
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	0	3
関係会社株式評価損	—	52
特別損失合計	0	56
税金等調整前四半期純利益	4,628	5,223
法人税、住民税及び事業税	682	752
法人税等調整額	△1	488
法人税等合計	680	1,241
四半期純利益	3,948	3,982
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,948	3,982



（四半期連結包括利益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）
四半期純利益	3,948	3,982
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	684	△685
退職給付に係る調整額	△39	55
その他の包括利益合計	644	△629
四半期包括利益	4,592	3,352
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,592	3,352

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。